

[樣式 3]

技術開発完了報告

近畿中国森林管理局

- 平成14年度 金ボタル生息域周辺の国有林を管理するうえで、金ボタルの生息に適した環境維持・整備のあり方を検討し、林業との共存を目指すことを目的に、地域の皆様や専門家の意見、考え方、地元の金ボタルの取組状況のなど、自然環境保護のあり方について「金ボタル シンポジウム」を開催した。（約120名参加）
 - *プロット区域外の森林整備（間伐、枝打）を実施（0.60ha 30%）
- 平成15年度 プロット区域外の森林整備（間伐）を実施（1.0ha 30%）
- 平成16年度 現地視察（大場信義氏） *間伐・枝打実施箇所を視察し、「ササ等がよく繁茂して、ホタルの発生が見られるようになった」という評価を受け、今後についても、ホタルの生息域拡大のためには施業を続けて行くことが重要であるとの指導を受けた。
 - *プロット区域外の森林整備（間伐）を実施（1.5ha 30%）
- 平成17年度 プロット区域外の森林整備（間伐）実施（1.5ha 30%）

開発成果等

- 除伐、間伐・枝打等の施業実施後、ササ等の繁茂が促進された結果、新たに「金ボタル」の発生が見られ、「金ボタル」の生息域拡大にも効果があることが確認された。
- 幼虫生息調査については、4回実施したが、いずれも、ゴミムシ、オサムシ、ヤスデ等の虫が捕獲されたが、金ボタルの幼虫は確認できなかった。

*金ボタルの年度別飛翔状況

年 度	飛翔開始日	飛翔最盛日	終 演	通常期より 金ボタル数の多・少	備 考
H 14	7月 3日	7月12日	7月19日	通常期程度	7月 6日 金ボタルシンポジウム開催
H 15	7月 5日	7月11日	7月20日	少ない	
H 16	6月27日	7月 5日	7月16日	多い	7月13日 森林俱楽部 飛翔観賞
H 17	7月 2日	7月 8日	7月18日	通常期程度	

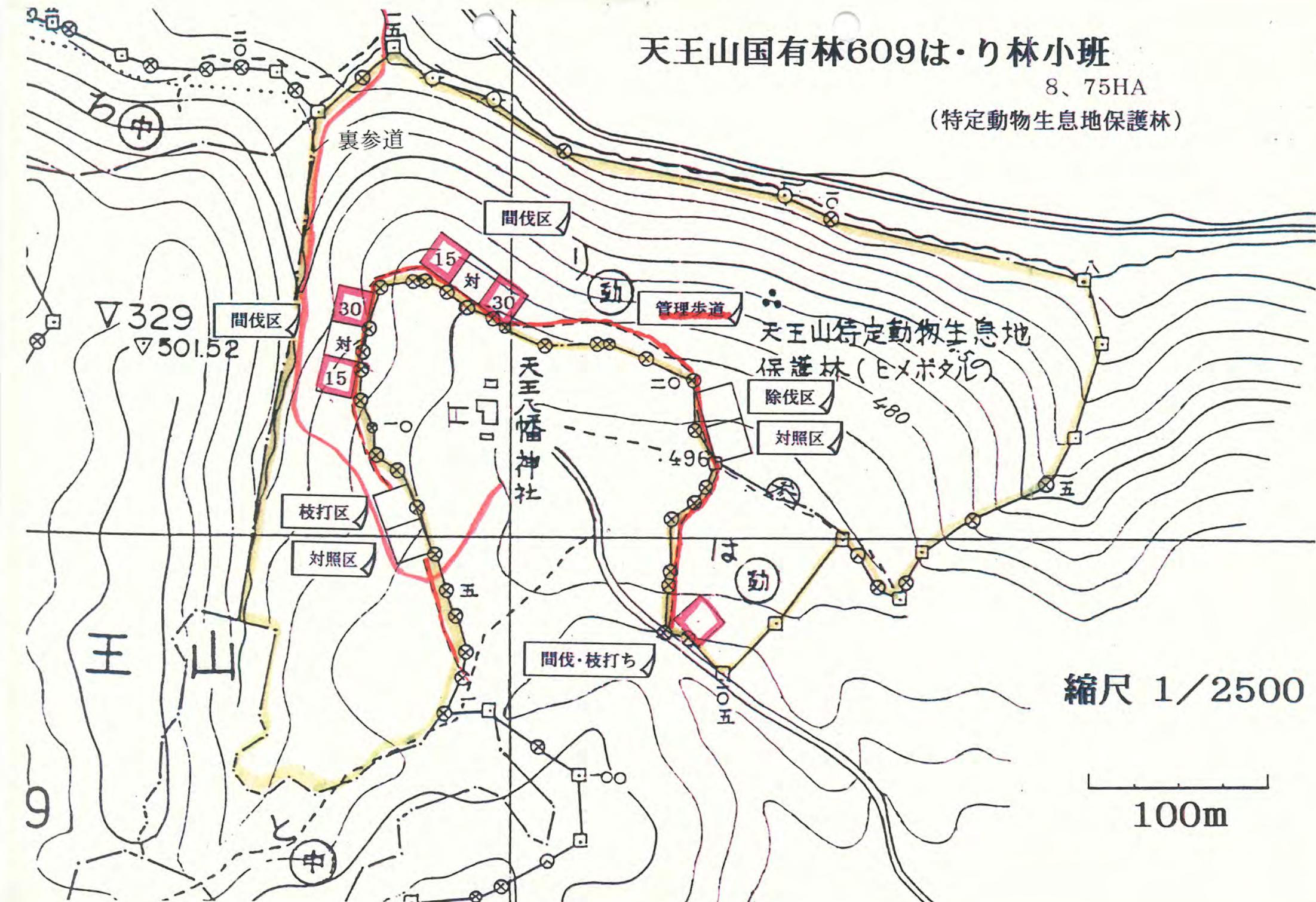
*上記のデータは、①春日成二氏（地元ホタル研究者） ②金ボタルを守る会、③市内アマチュアカメラマン美和氏からの情報。

- 本課題の開発目標である金ボタルの生態を踏まえた生息環境については、金ボタルの飛翔の増加は確認されたものの、幼虫生息調査では金ボタルの幼虫が確認出来ず、金ボタルの発生と森林施業との関連を解決するまでには至らなかった。
- 今後については、これまで定期的に気温・地温・湿度を調査しているデータと、金ボタルの飛翔関係との関係を把握するため更に環境データーを蓄積するとともに、金ボタル発生（幼虫確認）と森林施業の関連に取り組む。
- 平成13年度 「森林・林業交流研究発表会」にて発表（第1報）
- 平成14年度 「森林・林業交流研究発表会」にて発表

天王山国有林609は・り林小班

8、75HA

(特定動物生息地保護林)



金ボタルの生息と森林機能の発揮とが調和した森林施業技術の開発
天王山609は、り



間伐・枝打ち箇所 現在の状況

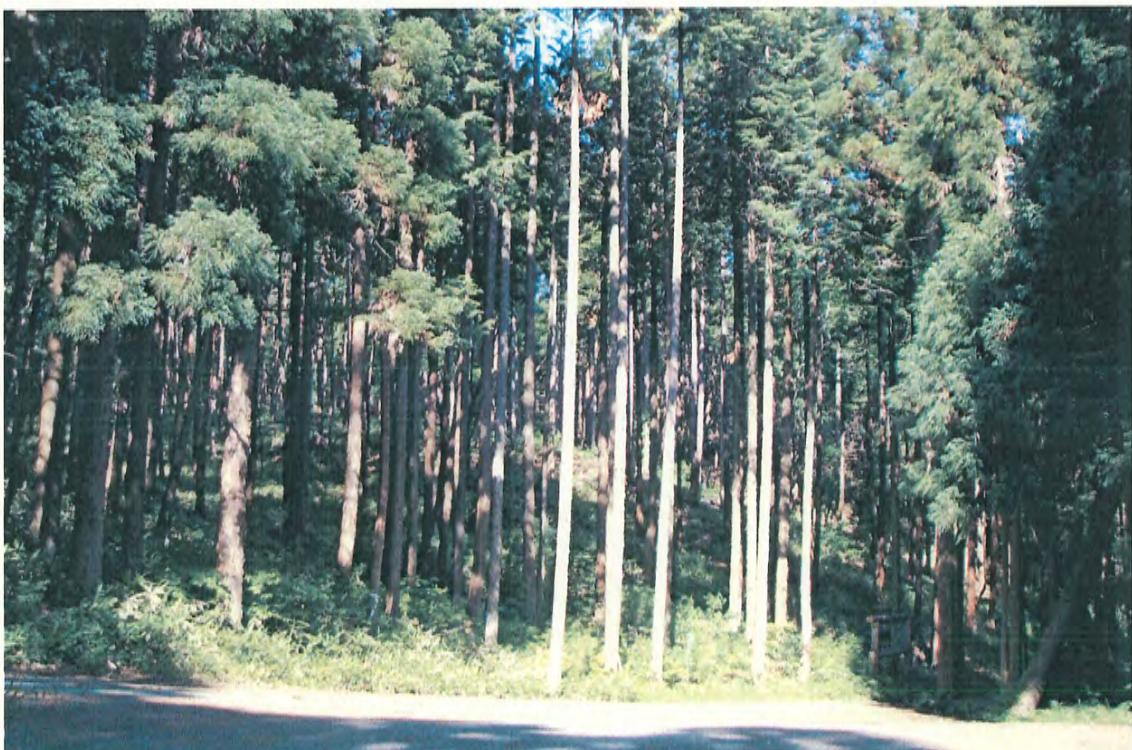


間伐・枝打箇所 現在状況 (下層植生)

金ボタルの生息と森林機能の発揮とが調和した森林施業技術の開発
天王山 609は、り



間伐・枝打ち箇所 実行前 H9年12月



間伐・枝打ち箇所 実行後 H17年6月

金ボタルの生息と森林機能の発揮とが調和した森林施業技術の開発
天王山609は、り



大場先生による、幼虫生息調査指導



紙コップのトラップ